後援：津島市・津島市教育委員会

NPO 法人まちづくり津島・津島市立図書館 共催

奥山景布子先生“里帰り”講演会

津島市出身の歴史作家・奥山景布子さんの「“里帰り”講演会」を開催します。
代表作『葵の残葉』をはじめとする作品のエピソードや、作家となったきっかけ、
そして、“ふるさと・津島”の思い出を、縦横無尽に語って頂く予定です。
今年、新田次郎文学賞を受賞した話題の人気作家の生の声、お聞き逃しなく！

日時

2018年 9月 23日（日・祝）
午後２時～4 時（午後1時半 開場）

場所

津島市立図書館２階　大集会室

定員

80 名
※事前に入場整理券を配布します。
津島市立図書館１階メインカウンターにて配布（ひとり２枚まで）
９月９日（日）９時より

葵の残葉

第 37 回新田次郎文学賞 受賞

明治 11 年 9 月 3 日、正装に身を包んだ四人の紳士が銀座の写真館に集まり、記念写真を撮る場面から物語は始まる。彼らは、尾張徳川家当主・徳川慶勝、一橋徳川家当主・徳川茂栄、会津松平家当主・松平容保、そして桑名松平家当主・松平定敬。徳川傍系の美濃高須藩から養子に入り、それぞれ藩主となった「高須四兄弟」である。激動の幕末、尾張藩主・徳川慶勝を主人公に、幕府派と倒幕派に分かれ対立しながらも、新時代の礎を築いた四兄弟の運命と苦悩を描く。

講師プロフィール

奥山 景布子（おくやま きょうこ）

愛知県津島市生まれ。名古屋大学大学院文学研究科博士課程修了、文学博士。
高校教諭、大学専任講師などを経て創作を始める。
2007 年に『平家蟹異聞』で第 87 回オール讀物新人賞を受賞。受賞作を含む『源平六花撰』で単行本デビュー。2018 年、愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。著書に『びいどろの火』『キサキの大仏』『秀吉の能楽師』『たらふくつるてん』『寄席品川清州亭』など。
集英社みらい文庫では児童向けの歴史読み物も手がける。徳川慶勝とその弟たちを描いた『葵の残葉』で第 37 回新田次郎文学賞を受賞。

お問い合わせ　　津島市立図書館　☎（0567）25-2145